

学校名 同志社香里中学校  
 学年 三年 一組  
 氏名 今中 美桜

題名 生活を支える税金

税金といわれて初めに思いつくのはやはり  
 消費税の人が多いと思う。実際、子ども  
 たちも支払っていて、一番身近に感じる税金  
 だ。消費税が八パーセントから十パーセント  
 に上がった時は値段が高くなると思っ  
 た。多いたろう。私たちが聞いた  
 ことも多い。いろいろな種類の税金がある。私  
 は肌で感じる場所がある。それは病院だ。私  
 が

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

住んでいる市に十八歳までの子どもは医療  
 費が一回の受診で五百円になる制度がある。  
 この制度によつて、例えば高額な機械を使  
 った検査も一回五百円になる。前より私  
 たちが自身の医療費の負担が減ることに  
 なった。また、さいたま市にも同じような  
 制度がある。それは中学校卒業までの子  
 どもの医療費が無料になるというところだ。  
 つまり、病院  
 での窓口ではお金の支払いがない。さい  
 ま市のホームページには、医療費助成総額

中学生の「糧」についての作文「原稿用紙

作品番号	1	2	3	4	合計
937					1688

推納し、一人当たり医療費助成額の推納  
 の推納のデータによると、この助成制度の  
 ために、二〇一九年は五十五億円もの税金が  
 使われている。私はこれを聞いて衝撃を受けた。  
 ぼせぼら、自命が任んではいる市では、  
 一つの市で三兆円の医療費の助成をしてい  
 ると知ったからだ。私の任んではいる市にはこ  
 のようぼデータはないが、ただ、これと同等の  
 金額が使われていると考えたらこの制度は七

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

ても大まぼのたと思、た。また、一人当  
 たり医療費助成額の推納のデータを見ると、  
 二〇一九年は一人当たり三百九十九円も助成  
 された計算にぼる。このおかげで、各家庭で  
 負担していた医療費が減り、子どものために  
 使えるお金に回すことが出来るようになった。  
 このように、私たちの医療費だけでも想像で  
 きばい、かなりの税金が使われていることば分  
 かる。

私たち中学生が払っている税金は消費税だ

出典：『税金のしくみ』

けだ。しかし、大人は「たが」に「たが」と物々  
 種類<sup>種類</sup>の税金を支払うことにする。そうして集  
 められた税金は子供の医療費を助成したり、  
 公営のもを子供にしたり、使ったりして  
 たりしている。私たちが当たり前でいるもの  
 だと思つて「普段身にしてはいるが、些細な  
 ことでも税金が預けられているものがある。マ  
 リ、税金は付くだけだから、税金は税金だ。  
 いろいろ制度があることだ。私たちが生活は豊か  
 になる。税金はついで、合算で深く考  
 全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

元々、いろいろなものがある。消費税も商品の値段  
 の一部のように感じている。税金が果たして  
 ている役割は、大きいものだと思つた。  
 それで、この作文を通して、これから税金  
 は無駄に使って、税金の生活が豊か  
 になるように使いたい。税金だ。  
 将来、人と納税する人になりた  
 と思つた。